

## 第 13 期 第 1 回 np.広告学校 講義録

### 小霜クラス 1 回目

### 「まだハッキリとした答えが出ていない世の中の疑問」

※明朝体部分は黄背景部分に関し生徒達が講義後、講義録を完成するまでに議論したやりとりです。

#### ◆日時

2020 年 6 月 29 日

#### ◆出席者

宇宙人、ヒゲのび太、テンパリ君、ボンボン、定規、語尾ハート、エセビ、反抗期、スカシスト、エサ待ち bot  
生徒 10（女性 5 名、男性 5 名）+小霜

小霜：じゃあもう始めてもいいかしら

一同：お願いします

小霜：えっとね、自分が常々思っている疑問をとということなんだけど、疑問を見るだけでも、視点のユニークさとか、そういうことが結構わかるかなと。そいでね、僕が面白いなと思ったのが、定規。

定規：ありがとうございます。

小霜：でちょっと、最初定規の出してきたものからいくつか選んで進めてこうと思うんだけど、まず、最初はね、

### 「ホストの靴はなぜ尖っているのか。」

ヒゲのび太 こういう自分にはない発想で仮説を立ててられることを自分も目指したいと思いました。

一同：爆笑

小霜：確かに…前から気になってはいた！

宇宙人：今も尖ってるんですかね、ホストの靴

小霜：正規の仮説①としては、まあ、ホストは靴だけじゃなくって髪型も尖っている。それで、常にランキング争いをする彼らにとって、鋭利であること＝自分を奮い立たせることを意味するのではなからうか。

あと仮説②が、イタリアでは尖った革靴がよく見られる。で、スタイリッシュなフォーマル＝尖った革靴という認識が定着したのではないか、みたいなことを書いてるんだけど、果たしてどうだろうか。何でホストの靴は尖っているのか。

小霜：当番の人、仕切ってくれる？

宇宙人：すみません。仕切ってというのは…

小霜：ああ、誰かに当てるとかさ…基本、みんなが進めて欲しいんだよね、みんなで話し合うと。僕はそれを眺めているという感じにしたいの。

宇宙人：なるほど、かしこまりました。じゃあえっと、語尾ハート、どう思われますか？

語尾ハート：あ、私ですね。うーん尖ってる理由…としては、何か、ホストは丸くなっていたらダメだと思っ  
ていて。常に挑戦したりトゲトゲしてる像に、女の人たちは応援したくなるのかなっていう風に  
思いました。

語尾ハート 逆に丸い靴を履いていたらホスト感ないなと思いました！

宇宙人：なるほど。これは逆に私の意見なんですけど、最近ホストって髪型が尖ってないそうなんですよ。ツンツンしてなくて、ふわっと丸い、ちょっとこうマッシュルームみたいなのが実は流行っているらしくて。恐らく女性の好みギンギラギラから草食に変わっていったにつれそうになった……みたいなことをダイヤモンドオンラインかで読んだんですが、靴までは書いてなかったな、と…。えっと、いろんなホストさんがいらっしゃるんですね。次、テンパリ君どう思われますか？

宇宙人 髪型は大人しくなったけど確かに尖っていますね。若手には高価そうなスニーカーもちらほらいるっぽい  
[https://groupdandy.com/200227\\_gd\\_nyp3](https://groupdandy.com/200227_gd_nyp3)

テンパリ君：えっと…そうですね、尖った靴を履いていると女性に普通は嫌われると思うので、あえて尖らすことで、嫌いも突き抜けたら好きになるとか、そういうところがあるんですかね。そんな感覚をちょっと持ちました。

宇宙人：なるほど、フィルタリング的な…？

小霜：あの、何で尖ってると女の人に嫌われるの？

テンパリ君：はい、えっと、「イキってる」というふうには感想としてはいただくことが多いので、その、すごくカッコツケのように見えてしまうっていうところが、ある種、女性から見たら遠い人のように見えるのかなという気がしました。

小霜：まあでも裏返せば、気になってることだよね。そうだよ。無視できるもんじゃないって話だよ。

テンパリ君：そうですね、はい。

小霜：Tシャツの襟がV字だからイキってるとか思わないもんね、別に。

宇宙人：尖った靴にそれだけ何か威力がある…？

小霜：何か意味があるんだよね、きっと。

宇宙人：とりあえず2人質問して、他に何か意見がある人挙手って感じで回していこうと思うんですが、時間的に。

スカシスト：じゃあ僕いいですか？

宇宙人：お願いします！

スカシスト：僕もこれ全然知らないです、というのを前提として。2つ僕は仮説を今考えたんですけど、1つ目は、やはりプライベートとお仕事っていうことの区別をつけるためということで、男性のお仕事としてのビジネスマナーとして、スーツだったりっていう正装をする上で、革靴、中でもトラッドなものというところに行き着いているのかなというのが僕の仮説1で。

もう一つが、男性って結構 **手元足元を気にする文化がある**のかな~というのを、今思いついたので、手元足元に対して、より、細部を見られているかもしれないという意識を持った上で尖った革靴を選んでいるのかなと、僕は考えました。

**エセビ** この文化も男性の方がスーツをよく着るからだろうなと思いました。自分らしさを出したりおしゃれをできる場所として、手元や足元が重視されやすいのかも…。

反抗期：そうですね、さっきトゲトゲ像が応援したくなるみたいな話があったと思うんですけど、何ですかね、自分のキャラクターを入れるための、スイッチを入れる、プライベート区別するって感じで。私のイメージだと仮面ライダーが変身するタイミングでちょっと意気込む、じゃないですけど、ホストって結構キャラクターが立っていないとお客さんつかないイメージというか、ありのまま喋ってる人ってそんないないのかなってイメージなんで、何か気持ちと一緒に背負う感じで尖らせたのかなって思いました。

語尾ハート：衣装みたいな感じですかね

反抗期：そうですそうです～

宇宙人：キャラクターの記号論みたいなの、何かすごい面白い感じします

ヒゲのび太：今、スカシストの話聞いてちょっとハッとしたんですけど、ホストってやっぱり攻めないといけないと思ってて、女性に対して自分からアプローチというか、こっちからどンドン攻めなきゃいけないんで。“モードに入る”と言われていたのがまさにそうで、攻めるときにテンション上がるというか、攻める姿勢みたいなのが、靴に現れて尖っていくというか、靴尖ってる方がちょっと強気に出れるというか。そういうモードに入れるデザインなんじゃないかなと、自分ではちょっと思って。ホストの役割になるための儀式が、尖った靴に出ているんじゃないかと。ちょっと面白いなど。

ボンボン：僕、2 つ思いました。1 つ目の仮説は、ルーツというか、ホスト業界が広まった時にめちゃくちゃ稼いでてかっこよかった人が尖った靴を履いていたので、ホストの憧れとして受け継がれてきて、**慣習** **になっている**んじゃないかなというのが1つと。もう1個はちょっとアレなんですけど、防犯的なものももしかしたらあるんじゃないかなと。暴力団とかトラブルに巻き込まれやすいと思うので、いざとなったときに尖った靴で蹴れるというか…

**語尾ハート** 慣習ありそうだなと改めて思いました。他の業界でもありそうです。

一同：笑う

エセビ：ボンボンがおっしゃってた、有名な人が履いてたからじゃないかみたいな話があったんですけど、それとちょっと似てて、有名な人が履いているものにちょっと憧れがあるっていうことは、みんなが欲しいもの、ホストみんなの憧れであったりとか、欲しいものだったりすると、女の人がもしかしたらプレゼントとかするのかな～とかも思ったりとかしてて。

宇宙人：11分過ぎたので一旦ここまでで…

小霜：僕の意見言ってもいい？これまあ仮説なので、正しいかどうかわかんないよ。**あのね、世の中には自然物と人工物がある**じゃない。で、全ての人工物は何らかの自然物の模倣なんだよね。簡単にいうと、飛行機って鳥の模倣じゃない。で、よくさ、道路は国の血管とか大動脈とかって言うけど、これまさに血管の模倣だよ。で、通信は神経の模倣。みたいに例えられる。

**ボンボン** 模倣という発想はなかったので新鮮でした。

**エセビ** ホストの尖った靴から、これは自然物の模倣なのかもしれないと行き着くなんて、思ってもなかったです。靴や履いている人のイメージが先行してただけに、衝撃的でした。

じゃあ例えばさ、鉄砲。あれは何の模倣なんだろうかと言うときに、僕はあれね、射精じゃないかと思ってるわけ。男が射精するときの模倣が鉄砲になったんじゃないと思うのよ。だからやっぱり男ってあ

あいうのに惹かれるところがあって。じゃあホストの尖った靴ってなんだつつつたら、これって、何か僕ね、**勃起の模倣**じゃないかって気がちよっとするのよ。

**スカシスト** このような発想に至ることが素晴らしいなと感心していました。  
小霜さんのおっしゃる「人工物は自然物の模倣」というところとはズレるかもしれませんが、結局人間は欲求に逃れられない生き物だからこそ、性的欲求や承認欲求みたいなのところにも革靴を尖らせているところに繋がるのかなと改めて考えました。

**語尾ハート** いろんな物事を、その仮説で見ると、面白いですね。

一同：笑う

**小霜**：俺はビンビンだ！みたいな。そういうところが女性からすると「ひく」って感じもあるけど、何かその、まあ「ひく」って両方の意味だったんだけどさ、引いちゃう、あと惹かれるっていうね。惹かれる女の人は無意識に、理由なく、何かいいなあみたいな風に思っちゃうところがあるんじゃないか。恐らくホストの方も何かよくわかんないんだけど、何か尖ってる方がイケイケな感じがするっていうね。

**宇宙人**：それを履くことで需要と供給が一致する……

**小霜**：んー、**潜在意識**で何か一致してんじゃないかって。それが僕の仮説。全然違うかもしれないけど。

**宇宙人** これの女性版なのか、チンパンジーのメスが発情するとお尻が赤くなる現象を模倣したものが真っ赤な口紅、という説を聞いたことがあります。

**ヒゲのび太** 潜在意識＝「無意識に考えていること」だと思います。正確に言うとターゲットインサイトではないのかもしれないですけど、潜在意識の視点で、仮説を想像する（ユニークな視点で）ことは重要な気づきでした。

**語尾ハート**：確かに丸い靴とか履いてたらビンビンな感じしないですよ、ホスト。

**宇宙人**：優しそう。普通の女性は嫌うっていうのも面白いというか、普通の女性ホスト行かんしな？みたいな。キャラクターです、こういうキャラです、こういう女が来ます、みたいな。

**小霜**：いや、だからその説でいうと、まあ、引く女性は何か危険を感じるんじゃないかと。危険を感じる人もいるけど、危険を好む人もいたり。ホストってやっぱ危険な存在じゃない、どっかね。それでその危険に惹かれるって言うのはあるとおもうんだけど。だからその、それを醸し出しているのが、実は潜在意識の勃出した靴っていうか。

一同：笑い

**語尾ハート**：何か今後あの靴を見たら思い出してしまいそうです……

**ボンボン**：履けないじゃないですか！

宇宙人：何か超偏見なんですけど、IT系の営業の人よく尖ってません？要はイケてる企業のイケてる人。

小霜：あのね、博報堂の後輩の営業で、もう靴ビンビン尖ってる奴がいて。お前尖りすぎだろって言ったことあるのよ。

宇宙人：それ見るたびに勃起してるって思ってたんですか

小霜：いや、でもね、そいつはめっちゃめっちゃイケイケな奴で。常に服キメて営業もかなり強気でやってたね。ホストっぽかったよすごく。だからやっぱ自分を常にビンビンにさせたかったのかなあ。

宇宙人：自意識を高めるものでもある？

小霜：うーん。まあ、じゃあ、これはこれぐらいにする？

一同：はい。

小霜： **じゃあ2つ目ね。これも定規のやつなんだけど、**

**ボンボン** 定規の疑問は着眼点が新鮮でした。自分は世の中や人類に対して大きな疑問を提唱したのですが、些細な日常の一コマに疑問をもつことが大切なのかなと感じました。

## 「理系学生はなぜチェックシャツを好むのか。」

宇宙人：定規のご意見聞いてもいいですか？

定規：はい。チェックシャツって、チェックとシャツに分かれるな〜と思ってて。基本的に柄が派手でカラフルなものとかが多いと思うんですけど、そのチェックの部分でファッション性とか遊びみたいな部分を担保していながら、シャツっていうところでフォーマルな部分を担保してて。センスに頼らなくてもチェックシャツを選んでおけば、フォーマルとカジュアルどっちもある程度揃ってますよっていう、個人のファッションセンスと離れた部分で服を選べるってところが、例えばお母さんが選びやすいとか。あんまり服に興味がない人が選びやすいとかっていうところで、それがなんで理系学生なのかちょっと考えられてなかったんですけど。ファッションに無頓着な人でも選びやすいってところが、理由かなと。

理系学生がなんでそもそもファッションに興味がないかっていうのは、そうですね、文系理系で分けた時に文系の方がより人間とかコミュニケーションみたいなのところに、人との関係みたいなのをより学んでいく学問で、理系ってどっちかっていうと物質的と言うか、ものと自分みたいなのところなので、そういうところからファッションに対する関心っていうのに差が出るのかなと思っています。

**スカシスト**：じゃあ僕も引き続いて言うと、何かもう本当に偏見なんですけれども、やはり理系学生は…何だろうな。もちろん定規が言ってた通り、人とコミュニケーションをとるっていうよりかは、やはりそのものに対する理論的な追求ってところを主にするからこそ、対人っていうよりかは対物として関係性を捉えている中で、ファッションっていうよりかは数字とか勉強って方向に行ってしまうからこそ、そういうファッションっていうのは親任せだったりっていうのが起こってると思います。ってことはもしかしたら、そのお母さんとか前時代的に、恋していた男性がチェックシャツな人が多かったのではないかなってところも予測として立てられるんじゃないかなって思いました。僕は全然存じ上げないんですけどチェッカーズとかその辺…ってところの文化も来てるのかなっていう風に思います、以上です。

**宇宙人**：じゃあ次、反抗期お願いします

**反抗期**：うーんそうですね、結構やっぱり物質とかなるほどな〜というか、私もそうだなって思うんですけど、好んで着てるんですかねっていうの、ちょっと話を聞いて思ってたというか。それが好きだから着てるっていうより、あるから。それこそ本当に用意されてるからなのかなというか。だから「好んで着る」わけじゃなさそうだな、みたいなことを漠然と思ってました。すみませんあんまりちょっと仮説がないんですけどそんな感じです。

**宇宙人**：じゃあフリー挙手をお願いします。

**語尾ハート**：ちなみに理系の人とかっているんですか？

(**テンパリ君**、**エサ待ち bot** 手を上げる)

**宇宙人**：じゃあ理系のお二人にご意見を聞いてみましょうか。テンパリ君から。

**テンパリ君**：はい、えっと、物質と人の関係みたいなのがすごい面白いなと思って聞いてたんですけど、そんなことに興味を持つ前、文系とか理系が分かれるずっと前、だから中一とか中二とかの時から、本当にそんな風に性質が別れてたのかなって思ったら、そんなことはなさそうだなって思ったときに、でも、僕はチェックを着ていた！

一同：笑う

**テンパリ君**：なので、チェック、もしかしたらもう物質かどうかは置いて、あまりファッションに興味なかったのは事実だから。チェックみたいなのは僕にとってすごく目立つ柄だったのかなっていう気はします。だからそれ以外、逆にそれを知らなかったから、だからチェックは何かの理由で、僕にとって目指すものだったんですけど、何かの理由ってどこまではまだちょっと思考が及んでないですね。

宇宙人：じゃあエサ待ち bot お願いします。

エサ待ち bot：はい。そうですね、何か理系の人って結果を出し、その、論文とか研究して結果を出すことを結構求めているのかなって思っていて。あとなんででしょう、自分固有の何かが欲しいのかなと。でも服にそんなに興味がないから、無地のTシャツを着ているよりはチェック着とけばいいやみたいな、そういう。何でチェックかっていうのはちょっと難しいなって思うんですけど、まあチェック着とけばちょっとオシャレに見えるんじゃないかみたいな固定概念があるのかな～みたいな。みんなやってるからじゃあチェック着とけばいいや！みたいな感じに広まっていったのかなって思います。

宇宙人：あの、そもそもなんですけど、理系の環境にいてチェックって多かったですか？

エサ待ち bot：う～～～ん…

テンパリ君：チェックが多かったかどうかはわからないんですけど、シャツは多かったですね、確かに。

エサ待ち bot：シャツは多い！

テンパリ君：それはそうだなって思った、すごく

宇宙人：一般的にっていうのもアレですけど、基本わりとTシャツとかの方が多くいですよね、大学生が着るの。それがシャツの方が多くなる環境…

ヒゲのび太：えっと、僕、友達が理系だったので、僕は文系だったんですけど、理系の人から（講義にちょっとあまり出てなかったんで）欠席しちゃった際にノートを借りて丸写ししてたりとかしてたんですけど、えっと、その人のノートってめちゃめちゃ綺麗に整頓されたんですよ。で、チェック柄のシャツをネットで見てて、ぼーっと見てたんですけど、だんだんこれノートの付箋にちょっと見えてきて…で、その人のノートって線からはみ出さないんですよ。基本的に、文字とか。僕文系だからかわかんないんですけど、結構この線2本使っちゃったりとかして、文字がオーバーしてたりとかしたんですけど、理系の人って結構そういう、線からはみ出さないみたいなのが、無意識的にノートをよく見ているのかなって思っていて。その無意識なんですけど、「線に綺麗に模様が書かれている」というパツと見のノートの感じを、ファッション的に好きだったりするのかなって思っていたりして、チェックはもしかしたらノートの付箋の象徴なのかもしれないって一瞬思いました

定規：今お話を聞いてて、デザインに法則性みたいなものがあるなあと思いました。

宇宙人 これの逆で、美大生は気合いの入った変な柄の服を着ている人が多かったなと思い出しました。

スカシスト すごい納得しました。理系学生のインサイトとして、無意識のうちに対称的なデザイン性のあるものを好む習性があるのかもしれないね。



ボンボン：確かに理系の人ってそういう、整理整頓された理論とか数式とかそういうのを好む印象があるので、無意識にそういうのを選んでるんじゃないかな～とは思いました。

宇宙人：ありがとうございました。ちなみに何か、大変偏見で失礼なんですけど、オタクにもチェックシャツが多くてオタクには理系が多いみたいな話があり。私はオタクの知り合いが多いんですけど、チェックシャツがあんまりに笑い者にされすぎて最近はおダーをみんなが着始めたって…

一同：笑う

スカシスト：そうっすよね、何かイキった文系学生があえて理系の真似をしてチェックシャツを着てるっていう…

宇宙人：いよいよバカにされてることに気づいておダーに変えたって話を聞いたことがあって、それデザインに法則性って話がそうだとしたら、何かすごい面白いなと思いました。結局無機物的なデザイン好きなんだ～みたいな。

これまでだとお母さんが選んできただけで興味がない説、あと理路整然とした模様が好き説、などですかね。あとファッションがフォーマルと遊びでちょうどいい説、自己を出したい説など。いかがでしょう小霜先生。

語尾ハート 医学部生にもおダーがたくさんいました。

小霜：えっとね、僕はやっぱり、服が与える影響ってあると思うのね。見る人の感覚とかに。僕も例えば夏とかさ、シャツ着てんだけど、結構柄物のシャツ持ってたけどいっぱい。シチュエーションで分けてるのよ、わりかし。例えばプレゼンで焚きつけるというか、やりましょうやりましょうって煽るようなときはピンクとかね。暖色系を着るようにして。逆にちょっと冷静になれと、一旦落ち着きましょうみたいな打ち合わせの時はブルーとかね。寒色系を着るようにしてるのね。アメリカの大統領ネクタイって変わるんだよね、話の内容によって。トランプさんのネクタイとかも赤だったり青だったりするんだけど、結構ね攻撃的な話とかは赤で、何かちょっと謝罪めいたこと言う時はブルーなのよ。

でね、カオスとオーダー（混沌と秩序）ってことでいうとね、まあ僕はねわりかし、最近チェック着ることが多いんだよ。前はねチェックとか全然着なくて、ちょっとアートっぽいようなシャツ着たんだよ、結構カオスだよ。で、何でかなって思うんだけど、振り返って昔はね、アイデア出すのが仕事だったんだわ。何かそのちょっと尋常じゃない突き抜けたような、そんなアイデアを出すのが自分の主な役割だったんで、ちょっと尋常ではないカオスなものを着てたのかなって気がするのね。

でも今はクライアント側のアドバイザーとして秩序を作るっていうね、そういう役割が結構多いんで。全体的話をまとめるとか。エージェンシーとクライアントとの間の交通整理するとか、多いんで。で、無意識というか、何かチェックの方がみんなを、秩序立たせられんじゃないかなみたいな、そういう意識が働いている気がするんだよ。

そう考えると理系思考って秩序の世界だと思うんで、特に数学とかっていうのは、枠からはみ出るとて事はあっちゃいけないわけで。絶対的な正解が出てくるっていうことだからさ、だからそういう思考に自分を浸らせたいときは、やっぱりチェックの方が合うんじゃないかなって気が何かするね。

オタクが何でチェックを好むかっていったら、わかんないんだけど、まあもしかしたら全然違う理由で、彼らのには結構カオスというよりは秩序の世界に住んでいるような気もするんだよね。フィギュアをきっちりコレクションするとかさ。10 体あったら 10 体なきゃダメなんだとかさ、1 体でもいいじゃんか！みたいなことってないじゃん。それって何かその、どっか数学的な完全な世界に住んでいる人たちの気がするんだよね。そうするとやっぱり秩序だった世界を好むっていうか。何かやっぱりチェックとかがフィットするんじゃないかなあ…それが **僕の仮説**。

**ヒゲのび太** 仮説の中で、自然にターゲット＝「理系学生」とターゲットインサイト＝「潜在意識として数学を勉強する際、秩序だった世界を求める」を分析していて、勉強になりました。こういう風に思考することが重要なんだと感じました。

**宇宙人**：なるほど、ありがとうございます。

**小霜**：じゃあ、これはそんなもんでいい？

**一同**：はい。

**小霜**：じゃあちょっと一旦、定規の質問から離れて。何か 3 人くらいから出てたんだけど、

## 「ローソンの新パッケージデザインはなぜ炎上してなぜ売上が上がったのか。」

**宇宙人**：これ提出した 3 人どなたでしょうか。

**ボンボン** 複数の方があげていた疑問はこれだけでしたね。

(**宇宙人**、**ヒゲのび太**、**エサ待ち bot** 手を上げる)

**宇宙人**：じゃあ順番に自分の仮説を言っていきますよ。ヒゲのび太からすいません、お願いします。

**ヒゲのび太**：そうですねえ…炎上していたっていうメディアがツイッターが主だったのかなと思っていて、で、それを取り上げた WEB メディアがいくつかあったっていうのが大きくて、で、Instagramとかだと、そんなに dis られてなかったんでね。むしろ何かいい感じですよ～みたいなのがハッシュタグつけて投稿されてるのとかを見て。まあツイッターの人たちは結構公共性とか、世の中の道理とか道徳を問うようなメディアというか、そういう人たちが揃っていて。Instagramはどちらかというファンコミュニティのような人たちが揃うメディアなので、そういう熱量高いコミュニティの人たちがたくさん買ってくれたっていう説と。そもそもそんなに、炎上した母数が全体数で言うと少なく、かつ、その炎上したっていうことでいっぱいメディアに取り上げられたんで、その分露出して気になって買ったっていうことで……まあ売り上げが上がったのは多分そういう話で。プラス、元々の

ローソンファンも結構好きだから買ったっていう。その、ファンは喜んだし、炎上商法じゃないですけど、その分露出したんで気になって買った人がいたっていうので全体的に増えた。

**工サ待ち bot** : ローソンっていうコンビニの特性上多くの人を使うお店だから、多くの人のことを考えたデザインじゃなかったことが炎上した理由なのかなと思ってます。今回、オシャレがコンセプトのパッケージだと思うんですけど、オシャレを追及しすぎてユニバーサルデザインとか、ちょっと分かりづらいついとか、後はすぐにコンビニに行ってそんなパツと見た感じ何の商品かわからないから、時間に手間がかかるだろ！みたいな人たちが多かったことが炎上した理由なのかなって思っています。売上が上がったのはターゲットを狭めたから、そのターゲット層には喜ばれたという結果、よりローソン自体を好きになってもらえたっていう結果、ローソンとしての売上も上がったのかなって思いました。

**宇宙人** : ありがとうございます。私もほぼほぼお二人と同じような事を考えていて、確かにオシャレを追及しすぎててちょっとぱつと見なんだかわからない、おいしそうじゃないみたいなことは確かにあって、それが炎上の原因にもなっていたけど。好きな人が集まって嫌いな人を排除した、さっきのホストの靴なげ尖る理論とも似ているんですけど、ファンが付くとアンチもつくよね、みたいなことなのかなと思います。あと売上に関しては、ちょうど定期的に家ごもり需要が増えていたのも、結構パッケージの他にもそういう理由もあるんじゃないかと個人的には思っています。

**ヒゲのび太** : そうですね、何かその時期とかはあるかもしれないっす。デザイン関係なくローソンに行つてご飯を買わないといけないういうタイミングではあったんで

**宇宙人** : どのコンビニも売上は、今確か上がっていたはずなので…あとまあやっぱり、炎上した！見に行つてやるうぜ！みたいな人、一定いますよねみたいな。かくいう私も。

**語尾ハート** : 確かにローソンと違うコンビニがあったら、ローソンに見に行きたいっていう風に思いますね。

**反抗期** : いいですか？売れた理由はちょっとわかんないんですけど、ちょっと思ったのが、何か新しいこととか見慣れないものに対して何かすごい叩かれるというか。え、それってどうなの！？みたいなことをめちゃくちゃ言いがちというか、そういう印象があつて、私は。例えば Youtube に参入したカジサックは最初はめっちゃ叩かれたけど、今は芸人参入してるじゃないですか。そういう何か、大きいくくりなんですけど、ローソンが、生活に溶け込めるような商品っていう新しいフィールドにコンビニが挑戦したことに、みんなやいのやいの言いたかつたみたいな気はちょっとしたなつて思いました。

**玉セビ** 読んでて似てるなと思うのがあつて、これは田舎あるあるなのですが、よそのへの同調圧力が働いてる気がして。新しいことをことを叩くのも、今ある自分の立場を荒らされたくないとか、関係性を守りたい意識ですよ。

**宇宙人** : やいのやいの言いたい欲つて、何かありますよね。あとそういう人つてやいのやいの言うためにわざわざ見に行つたりするので…それは売りに上げに繋がるのかなあ、など。  
他に拳手制で、はいスカシスト。

スカシスト：ローソンのこの商品っていうのは、もちろん炎上商法を狙った商品ではないってのは前提として持って頂きたいんですけど。皆さんにもちょっと聞きたいんですけど、炎上ってどういう風に思ってるのかな、と思ってまして。僕は例えば Twitter 上での炎上っていうのを、僕は議論の場なんじゃないかなって捉えているので、何かその、ローソンのパッケージっていうものをタイトルとして、いろんな人がディスカッションしているっていうような状況だって捉えたら、まあ確かに批判とかは多かったかもしれないんですけど。226 の法則じゃないんですけど、例えば2のローソンのパッケージいいっていう人と、2 のアンチコメントの人のバチバチを見ることによって、6 の層が取り込まれていくっていうような、まあ何か、炎上とは言えない炎上でこの商品をの売り上げが結果的に上がったっていうところに行き着くのかなって僕は思いました。

いろんな炎上案件っていうのも、何か数字的には上がってるっていうところが。ちょっと嫌な例もありますけど、まあ成功してるっちゃ成功してるって捉えれば、この例にも当てはめられるのかなって思いました。

エサ待ち bot 炎上に対して、悪いイメージしかなかったのだからこういう視点もあるんだなと新鮮でした

宇宙人：そもそも炎上ってそんな悪いのか？みたいなの。炎上言うけど炎上か？みたいな話がありますよね。きつと。

小霜：僕の意見では、これね、そんなにいいデザインと思えないのよ。そもそも。何でかって言うとね、これ文字がちっちゃくて情報多いんだよね。で、やっぱね、ストレスなんだよね。いいデザインっていうのは努力を必要としないってことなのよ。パッと見てわかると、一瞬で。それがね、やっぱいいデザインだと思うね、パッケージにおいては。これって何だろうって手に取らなきゃわかんない、しかもどれもやっぱり基本パターンが、フォーマットが同じだからさ。どれがどれでってことを認識するのもお客側の努力がいるわけさ。

で、コンビニってどんどん高齢化してるんで、年配層が中心なのね、客として。で、歳を取れば取るほどああいうデザインって苦痛になっていくんじゃないかなって気がするわけ。で、あれをデザインした人の言い分を聞くとね、店頭で目立とう目立とうっていうんじゃないかと。うちに持って帰ってから生活のレベルが上がるような、そういう上質なデザイン目指したって言うんだけどさ。でもね、何かやっぱこう、店頭で手に取るときにいちいち探さなきゃいけない、いちいち手にとって読み込まなきゃわかんないっていうのは、そりゃ嫌な人は嫌だよなと思う。だからあれがいいっていう感覚が僕にはあんまないかな。ちょっとね、やっぱりローソン側の独りよがりじゃないかって気がするけどね。

これは広告もそうで、よくあるのがね、これって何が言いたいのかって言ったら、これはこれこれこういう意味なんですって言うんだけどさ、何かもうパズルかと。金田一少年連れてこい！みたいなさあ。謎解きをするようなものが、深みがあって面白いっていう風に勘違いしてる奴、結構いるのよね。そんなのはねもう苦痛でしかなくて、受け手からすると。パッと見て一瞬でわかるっていうのがいいに決まっているのよ。広告もそうだし店頭もそうだと思うんだよね。だから炎上したっていうのは、多分そういうふうに、言葉にできないんだけど何か嫌だと。何かこのパッケージはしんどいみたいなのがあって耐えられない人がね。クレーム入れたんだろうなって気がする。

宇宙人 絶対に忘れないようにしようと思いました。

**スカシスト** クリエイターになってしまうと、自分が消費者でもあることを忘れがちだと思います。企画を練っている時に、意識的に客観視をする方法とあってありますか？

**ボンボン** 肝に銘じます。

**エサ待ち bot** いいデザインと好きなデザインは違うんだなと、ちゃんと区別していかなければいけないですね

**宇宙人**：それでいうと、ファンって文脈を読むのが喜びみたいなのがあると個人的には考えていて。インスタグラムで褒めている人たちはそういう層なのかもしれません、と今思いました。

**小霜**：それを乗り越えてくれるぐらいの人だったらいいんだけどさあ。そんな人ばっかじゃないわけで。あとまあ売れてるっていうのもまあちょっとアテになんないよね、時期的なこともあるし。ちょっとそれはわかんないなあという気がするけどね。まああとさあ、プライベート食品が全部あれに変わっちゃったわけだから、あれ買うしかないじゃん！嫌いだから、わざわざじゃあセブン行こうかってなんないわけよ。逆にいうと、買わざるを得ないから文句言ったってことかもね。嫌だったら無視すればいいわけよね普通は。これやめたっつて他のを手に取りればいいわけだけど、プライベートブランドでこれしか選びようがない。なのにこれかよと。いうのがきっかけになったんじゃないか、って気がする。ていうのが僕の見解。

**小霜**：じゃあ次は…

## 「テストの丸つけは何で赤色を使うのか。」

**宇宙人**：はい、誰でしょう。

**スカシスト**：えっと、もう本当にふとした疑問でした。小学生の頃から僕たち多分テストの丸つけて赤色を使うんだよってのを潜在的に刷り込ませられて、自分もやっぱり丸つけをする時は不意に赤ペンを使ってしまうところから、何でだろう？って思ったのが発端です。仮説としては、やっぱり色彩的に何か目立つ色ってことで、丸バツっていうのを色彩感覚的にも伝えるって言うことだったり。赤色っていう色のイメージってところも、もしかしたら関わってくるのかなと思いました。僕が思う赤色のイメージは、やっぱり心だったり奮い立たせるようなイメージだからこそ、成績だったり問題の回答に対して、バツだったらもっとしっかりしろよっていうメッセージが込められてたりとか、丸だったらよくできましたっていうイメージが込められてるのかなと僕は思いました、以上です。

**宇宙人**：ありがとうございます。順番に従って、ヒゲのび太お願いします。

**ヒゲのび太**：やっぱりあの採点の時に赤を使うっていうのはまず、色って役割があると思って。で、ここが違うとかここがっているみたいなのを強調するための色だと思うんですね、採点の時の赤の色って。で、白の紙、もしくは昔はちょっと茶色じゃないですけど、そういう色の紙だったと思うんですけど、そういう紙に乗っても一番目立つ色ってなんだろうって考えた時に、まあ赤は目立ちやすいし、あと原色だったっていうのも結構でかいのかなと。一番知ってる目立つ色、なんだろう、赤だな。まあ血の色も赤ですし、その一番目立つ色っていうの、出血したときと違ってすぐわかるじゃないですか。

その一番目立つわかりやすい色っていうのが、原色の中でも赤なのかなと思って、赤かなと想像しました。

**エセビ**：さっきヒゲのび太がおっしゃってた感じで、重要なことに赤をつけるっていうのはあるかなと思っていて。赤い色って印鑑でも使うし、止まれって標識でも使ったりするから、何か強調する意味ではあるのかなっていうのが、ひとつ思ったのと。あと多分丸つけとかって、元々たぶん紙に筆で書いてたことが元かなと思ったんですけど、筆の色って黒か赤しか見たことないな〜っていうのも、ちょっと思って。元々色として赤が一番最初に出来たとか。黒の次が赤だったとか。そういう色分ける意味でも2つしかなかったとかいう理由もあるのかもなーと考えました。

**テンパリ君**：僕はバツを赤で書きたいからだと思いました。バツは拒絶するっていう意味で、間違いを拒絶するっていうようなことかなあとと思って。拒絶することを一番象徴する色が、さっきの話でもあったような止まれの赤だったりとか、血を流して、そういうのも多分赤だと思うんですけど。起こしてはならないことは結構赤で表現されるんだなっていうことを思いました。で、人間社会…って言ったらちょっと大げさすぎるけども、僕たちの生きる社会は結構、間違いをすることをすごくダメなものとして認識するケースが非常に多いから、そういった社会に適応するために、間違っことは二度とやってはいけないってことも含めて、拒絶っていうようなところで象徴的に表現するんだらうな〜と思ったんですけど。まあ丸は赤ペンを持ったらもう他の色に持ち替えるのは面倒なので、それを、赤をそのまま使ってるんだらうなっていう、僕はそんなことを思いました。

**宇宙人**：言われてみると交通標識とか一番見なきゃいけないものって、赤すごく多いですよ。行き止まりとか。赤が人間を引き付けるのか。例えば個人的に私が思ったのは、壁画とかの色部分っていうんですかね、彩色してる部分って結構赤が多いなと思って。何なら人が色を認知するにあたって赤が一番最初だったから、最終的にこうなったのではみたいなことを少し思いました、仮説ですが。では他に挙手できる人お願いします。

**ヒゲのび太**：あとすっごい遠くから…遠くから見ることはないと思うんですが、遠くから見ても赤って識別できたりするじゃないですか。生徒が書いた文字と区別するのを超わかりやすくするために赤使ったのかなと。他の色だとどうしても、黒と白じゃないですか基本的には。黒と白ともう一色なら結構馴染む気がしてて、どこまでが生徒が書いたものなのか、採点するが書いたものなのかっていうところが、赤だと結構遠くから見ても、ここが生徒が書いたところではない、ここが先生が書いたところだというのが、分かりやすいっていうのがあるかなと思いました。

**宇宙人**：なるほど、ありがとうございます。皆さんどうでしょう。（挙手なし）  
なければ小霜先生お願いします。

**小霜**：俺？ **そもそも人間は、いつ頃色彩能力を見つけたのか**と。これは木の上で果物を食べていた時期だって言われてるんだよね。で、果物って熟すと赤くなって腐ると青くなるんだよね、カビが生えて。で、これを見分ける能力のある奴が自然淘汰で生き残ってきたっていうわけよ。要は熟した食べ物、赤い食べ物

を誰よりも先に見つけられるって言う能力のある奴らが生き残って今に至るってということなんだよね。で、あのね、料理の写真撮る時に、バック青にすると途端にまずく感じるのよ。だから CM 何かでも食べものの CM でバック青ってないんだよね、タブーになってるわけ。やっぱりバック暖色系の方が食べものってうまく感じるんだわ。そこのでいうと、色の中で真っ先に赤に反応するようになっていると、僕らはね。だから信号でも一番気付かなきゃいけないのは赤でしょ、止まれっていうものに真っ先に反応しなきゃいけないから、止まれに赤を持ってくるっていう風になっていると。っていう話なんだよね。だとするとすごく簡単な話、テスト丸つけるときに、これってまあ黒かそれ以外かっていう話じゃなか。だったら一番目立つ色を持ってくればいいって単純な話だから、じゃあそうなるとやっぱ赤だよなと。ということで赤を持ってきてんじゃないかって気がするけどね。もう一色使いましょったら青になるとかね。

**語尾ハート** 人間や生命の本質的なエピソードや引き出しがすごいなと思いました。

**宇宙人** いいクリエイティブをするためには目先の美しさや面白さだけでなく、人間の根本的なことを知らなきゃいけないんだなと身に染みました…。

**宇宙人**：確かに青使う先生っていらっしゃいますよね。もう一箇所、説明を書く時とかに。

**小霜**：そうだから人間はまず赤が気になるのよ。その次青なんだよね。

**宇宙人**：Word の校正の色ですね。赤の下線と青の校正。

**小霜**：だから三色ボールペンって黒と赤と青でしょ。人間が一番気になる色がそこにあるってということなんだと思う。

**宇宙人**：なるほど、ありがとうございます。みなさん大丈夫でしょうか。

**ボンボン**：よろしいですか。先ほどの、赤を識別して、その果物とかの区別をできる人間が生き残ってきたって話があったかと思うんですけど。たまに色覚異常者の方とかで赤と緑の区別がつかないとかそういう方もいらっしゃると思うんですけど。そういった方ってどう生き残っていたのかなってというのが、ちょっと疑問に思いました。

**小霜**：あのね、生物って 2 割は変なのよ。例えばアリってね、自分の匂いをつけながら歩くんだよね。その匂いの濃さとか薄さとかでアリが、歩いた距離とかがわかる。でね、アリが餌を見つけましたと。そしたらそいつは餌を、自分が来たルートを辿って巣に持ち帰るわけだ。そしたら他のアリは、そのアリのルートを辿って取りに行くわけよね、餌を。でもね、それをしない奴らが 2 割いるのよ。でね、何で 2 割かつたら、そいつらは全く無駄なことやってるかもしんないけども、さらに短いルートを見つけるかもしれないわけね。で、もっと短いルートを見つけたら、他のアリはそのルートで餌を取りに行くようになるわけ。でも 2 割は従わないよね。2 割はまたね、バラバラばらけてて、もしかしたらさらに短いルートを見つけるかもしれない。で、要はねこれって何かっていうと、ある種投資みたいなもんだね。2 割は投資するの、違うとこにね。で、これね 3 割だったら無駄が多すぎて結果損なんだよきつと。で、1 割だったら上手くいく可能性が減りすぎてこれもダメで。2 割がマジックナンバーというか一番いいとこなんだと思うね。

例えば Google なんかは、2 割ルールっつーのを持っていて、今はないみたいなんだけど、社員は自分たちの時間の 2 割は自分がやってること以外の仕事しろっていうのがあって。その中から Gmail とか色々なものが出てきたって話があるんだけど。2 割は変なことをした方が、そっからイノベーションが生まれるって可能性があるわけよね。これはもう生物界の掟なのよ。で、人間も色盲の人が一部いると、するじゃない。で、もしかしたら **何かのはずみで世界が変わって色がなくなるかも知らないよね。**で、色がなくなったら下手に色彩がある人よりも色盲の人の方が有利かもしれない。例えば山岳地帯に住んでいる民族は、山登りが得意な奴が優秀なわけよね。でも山登りできないって奴がいたとするじゃん、2 割くらいね。こいつら何の役に立つんだって話なんだけど、何か気候変動で山が沈んじゃいましたと。海底に。したらその 2 割の中で泳ぎの上手いやつがたまたまいたかもしれない。だからそいつらが生き残るって話よね。つまり世の中何が起きるか分からない、だから多様性で変な奴らも持っとけっていう。これが生存のためのリスクヘッジなわけよ。

**語尾ハート** トランプの大貧民の革命を連想させられました。私は革命に備えて、3 はとっておきます。

ボンボン：ありがとうございます。

小霜：だからあの、**人間も動物も生物も 2 割ぐらいは変な人がいるってこと。**変な奴がいると。生存戦略なんだよ。

**スカシスト** ふと、Apple の「Think Different」を思い出しました。

テンパリ君：すみません、しょうもない質問なんですけども。広告のトップクリエイターって言われる新しいものをどんどん生み出している人達ってのは、その 2 割の中の人たちなんですか。

小霜：うーんどうなんだろう、そうかもしれないねもしかしたらね。普通じゃないって意味でいったらそうかもしれないね。

テンパリ君：ちょっと興味を持ってしまったので。ありがとうございます。

小霜：あの、第二次世界大戦の時にね、戦後、米軍が調査したのよ。何調査したかつたら、その、最前線に行くじゃない。で、最前線に行ったにも関わらず一発も弾を撃たなかったやつがいると。どんだけいるかって調べたら、実はね、8 割がそうだったってね。つまり戦争映画でバンバンバンバン撃ってるでしょ。**あれ嘘なんだよ。実際は、撃ってるのは 2 割だけなんだよね。**

**宇宙人** 美しく作られた知らない分野のフィクションを鵜呑みにしてしまうの、気をつけたいと思いました…。医療ドラマとかもきつと嘘だらけなんだろうなど。（もちろん演出は素敵なことなのですが。）

8 割は弾入れるだけ、撃たないと。ヨーロッパでも太平洋でも同じで、8 割は全然撃たなかったという話があって。それでこれはイカンってことでね、めちゃめちゃしごいて、とにかくお前らは殺人兵器だっつて無理矢理撃たせるようにしたんだけど、そうするとちょっと精神が病み始めたみたいなのがあるのね。で、何かこう歴史を調べていくと、南北戦争の時に、その頃の鉄砲って先から（弾を）込め



るんだよね。そしたら一万人ぐらい死んだ戦いでね、倒れてる奴らのライフルを見ると、何発も弾詰まってるんだって。要はみんな一斉に弾込め、撃て！ってやるじゃない。弾込めるんだけど撃てないんだよ。そのまま弾込めになるからまた込めると。何発も込めて撃てないまま、その人が撃たれて死んじゃうみたいだね。そういう死体ばっかだったって話があるのよね。実は人間は普通は人を殺せない。人を殺せないんで敵がそこにいるも撃てないんだよ。でも平気でパンパン撃つ奴いるんだよね、2割は。そいつらが殺しまくってるっていう。それが実は戦争の本当の姿だっていうことがある。だからその戦争行って相手を殺すっていうのも、実はまあ、人間の本当ではなくって。 **ちょっと異常な人たちだったり異常な行動っていうことになったりするのね。**

**語尾ハート** このエピソードにはとても驚きました。人間の歴史や行動に関してもっと勉強したいなと思いました。

**テンパリ君** : ありがとうございます。

**小霜** : じゃあ次、またちょっと定規に戻って、

## 「授業などで、あっ、自分の名前が呼ばれるな！という予感は何で当たるのか。」

**宇宙人** : 定規、仮説をお願いします。

**定規** : 結構これ自分だけに当てはまってるのかもな…っていうので、自分の仮説を言うと、実際は呼ばれるかもしれないって思って当たってる時と、呼ばれるかもしれないって思って当たってない時って平等なんだけれども、当たった時に「当たった！」って印象がすごく強くついていて、今そう感じてるのかなと、そういう仮説があるんですけども、とはいえいっぱい当たってないかなというか、とはいえその予感って的中することが多いんじゃないかなっていうので、本当にこれは疑問だなーと思って書かせていたんですけど。

**宇宙人** : じゃあ石田さんからお願いします。

**エサ待ち bot** : はい。えっと、仮説2個あって。先ほど定規がおっしゃってた、 **自分の予測が当たったって瞬間の方が自分の脳に記憶されやすいという性質があるのかなあっていうのと。** もう1点は、自分が当たるかなっていう予測っていうのは、周りのみんなが当たってるから自分が当たるんじゃないかな…みたいな、そういう現象が、理由があるのかなって思って。そういう場合って、だいたい自分以外の周りが当たってたら自分はもう当たる確率の方が高いじゃないですか。そういう確率論的な問題なのかなと思いました。

**テンパリ君** 「噂をすれば影」も「先生に指されることを予感する」と似ているように思います。他にも「星座占いが悪かった日は、自分はツイてない」など。予測系の事象が当たったとき、それは記憶されやすいのでしょうか。

**ボンボン**：僕は2つ思っていて、1つは、態度に出てるのかなっていう。例えば当たるかも当たるとソワソワしてると、挙動不審になっちゃって目につきやすいから、結果当たりやすいっていう。何か占みたいな感じで、当たるとして当てに行ってるみたいなのが1つと。もう1つはほぼ同じことなんですけど、何かスピリチュアルになっちゃうんですけど、人間も粒子とかで出来てるとすると、こう、波動みたいなので、そういう引き寄せちゃってるのかなっていう感じで思いました。自分でこう、引き寄せちゃう、そういう風に当てに行ってしまうんじゃないかっていう。

**宇宙人**：拳手制に入ります。何かこれだっ！と思うものありましたか？

**語尾ハート**：私すごいボンボンの一個目のやつ、本当にそうだなっていう風に思って、何か先生に私もよく当てられることが多い。なんで私ばかり当たってますかみたいなことを放課後聞きに行ったことがあるんですけど、何か「お前は当てて欲しそう顔をしているからだ」みたいなことを言われて、確かに顔に出てるんだな～っていう風に思いました。そういう風に、当てて欲しくないっていう顔が先生にわかって、指されるってことはあるなと思いました。

**テンバリ君** 自分が塾の先生をやっていたときは、お喋りが上手な子を無意識に当てていた気がします。お喋りな子は、印象に残りやすいです。そうすると、後に定期のおっしゃる「当たった印象が残りやすい性質の生徒が集まる」みたいなところと、関連が出てくる気がします。

**宇宙人**：これは私の個人的な考えなんですけど、何かこう先生も、今日は例えば29日だから出席番号29番とか、何か結構法則性があるって多気かしていて。何となくその法則性を受信してソワソワしてるんじゃないかみたいな。上手く出せないけど先生の法則を読んでいるみたいな側面もあるのかなと、個人的には思いました。ただやっぱりそのうちの9割は当たるぞ当たるぞと、教室中全員が当たるかもと思ってて、当たった人だけ記憶に残るせいなのかな……というのが9割かなと個人的には思っています。

**スカシスト** npの顔合わせの会で、小霜さんが坂根さんに「何かひとつやるにしても理由を持たせないといけない」とおっしゃっていたのを思い出しました。情報の発信者と受信者は、無意識のうちに意味を見出していて、その意味が両者の中で一致した時に、法則性となっていき、「当てられるかもしれない」と思うようになるのかなと考えました。

**宇宙人** 確かに最初の話と繋がりますね！面白い。人は知らず知らずのうちに意味を考えて行動しているのかもしれないですね

**ヒゲのび太**：定期の言ってくれた最初の、当たった印象が残りやすいっていうのの補足になるかもしれないんですけど。教壇に立ってみると、何か一番前の人って当てないんですね、なんとなく。目線に入らないからってのはあるかもしれないんですけど。こう、首上げた時に、一番後ろの方とか後ろの方の人を当てたくなるんですね。あと話を聞いてなさそうな人とかを。何か意外性を持って当てたくなるっていうのがあって。で、当たった印象が残る人って、多分当たりたくないって思ってる人で、で当たりたくないと思ってる人は、多分ですけど授業の成績があんまり良くなかったりとか、ちょっと真面目じゃないところとかがあって。そういう人ってまあ、席順でどう決まるのかって学校によると思うんですけど、後ろの席を選びがちなのかなってのがちょっとあって。当てやすい位置の席に座ってる人が、結構当たった印象が残りやすい性質の生徒が集まりがちなのかなと思いました。

宇宙人：席順の悪循環みたいな…。逆なんですけど、これ超自信満々！クッソ当てて先生当てて！みたいな時に当てられたことって皆さんありますか？

一同：（挙手なし）

宇宙人：そういう時、意外とスカされるなみたいな印象。それ逆定規説かなって今パツと思いました。要は（当てられたら嫌だと思ってないから）印象に残らない。

反抗期：今の、自信ある時当たらないっていうのを聞いて、先生側的には間違いを教室で何個か引き出すことで授業が進むかもしれないなって思ってて、それこそ後ろの席選びやすい人を指す理由というか、間違えて授業が活性化してくれたらいいなみたいな狙いもあったりするのかなと、今ちょっと思いました。

ヒゲのび太：確かに、間違いをきっかけに会話を作るっていうのはあるかもしれないです。

宇宙人：つまりソワソワすると損であると…

反抗期：よくわかりましたね。

宇宙人：以上で大丈夫でしょうか。小霜先生いかがでしょう。

小霜：んー、まあ、以心伝心っていうか。さっきパターンって話が出てたけど、何かこう、自分が当てられるシチュエーションにいるなって、何か感じてるんじゃないかな。これは何か自分が当たるパターンだぞって言う。どういうパターンかっていうのを言葉にはできないんだけど、何かがあって感じ取ってると。どうなんだろうねえ。まああと、もしかしたら何か、何の予兆も脈絡もなく、今当てられた嫌だなとかね、思ったのが、何かその先生の気を引くとかね。そういうの繋がってるとか。何かこう人間同士って、言葉にしないところの無意識のコミュニケーションとか取ってるはずで。取るつもりなくてもキッカケに取ってしまったみたいな。そういうことがあるのかなって気がするけどね。

小霜：じゃあ次行っていい？

## 「なぜアイドルの努力は感動するのか。」

宇宙人：誰のでしょう？

語尾ハート：はい。何かその努力……虹プロとかがあったじゃないですか最近。で、みんな Instagram とかで「努力しててすごい」みたいな風に見えるけど、周りの人たちにも努力してる人なんていっぱいいるのに、何でその子たちだけが崇められるのかが謎だなんて風に思って。毎朝 6 時に起きて自分のインプットのために頑張っている会社員とかも、よっぽど素敵だなんていう風に思ったんですよ。

で、その仮説としては、やっぱり自分よりも弱そうな子が頑張ってるから、自分が優位に立って、自分より弱い子が頑張ろうとしてるんだから、自分も頑張らなきゃな～みたいな風に思うのかなっていう風に仮説を立てました。

**宇宙人**：ありがとうございます。皆さんどう思われますか？

**テンパリ君**：あ、はい。僕は昔、指原莉乃を激推ししてまして。その時はまだ全然売れる前で、ネ申テレビっていうのに出たんですけど、そこで色々バンジーとかよくあるちょっとハードな罰ゲームをいっぱいやって。ことごとく指原はできなかったんですよ。で、その時にあまりのヘタレっぷりに指原と自分を重ねて、自分もヘタレだし全然ダメだみたいなところで、指原が頑張ってくれたら自分も頑張れるかもしれないっていう、ある種の自己投影を勝手に指原にしていたっていうのが僕の体験なので、それをまあ、そういう人も一部いるんじゃないかなと。自分を投影して、その子が頑張っていくってことが自分が頑張る元気になっていくっていう風に思う人も、一部いるのかなって思います。私はそんなことです。

**スカシスト**：僕もテンパリ君と同意見なんですけれども、僕の場合は全くアイドルのことが、どちらかと言うともしかしたら好きではなかったかもしれないです。その、やはりアーティストとしてアイドルっていうものを含めるのはどうなのかっていう風に思う人だったので。あまり好んではなかったんですけども、何か最近のNizi Project だったりとか、例えば豆柴の大群とかご存知の人はいるかもしれないんですけど、そういうマスメディアだったりを絡めたりとか、視聴者参加型にしてみたりとか、努力、アイドルになるまでの過程を見せてくれて、それに自分が参加していけるようになったら、すごい僕も、そのアイドルに対してはすごい好意を持てるようになったっていう僕の変化から、やはり舞台ではやっぱりキラキラして輝いて見えるのに、その裏ではこんなに泥臭い努力をしているんだっていうところに対して僕は、自分の生き方だったりっていうところをつい重ねてしまうところがあったので、この子頑張ってる、ちょっと自分みたい応援したいなっていう風に思うようになったんだなって、僕も思いました。

**宇宙人**：ありがとうございます。今のところ生き方を重ねる人が2人、優位に立って応援できるのはが1人、皆さんいかがでしょうか。

個人的な意見なんですけど、確かにアイドルってちょっとそういうところ個性的というか、アイドル自体が歌とか踊りとか、もちろんそれも売りにしてるんですけど、それ以上に努力の文脈をエモく売ってるよなと思って。川口さんのおっしゃる通り、じゃあ例えばOfficial髭男dismとか見てそう思うかって言うそう思わないな～みたいな。当然すごく努力してるだろうに。何か（アイドルは）それを売るためにそれとしてあるのだから、そしてこっちはそう見るとセットされているからみたいなところが。要は文脈の読み方みたいなところがあるのかなと、ちょっと思いました。もうそういうものだと思っているみたいな。子供の「はじめてのおつかい」感動するよね、みたいなことを思いました。

**エセビ**：追加で、何だろう。アイドルの人が弱い立場というか、何か自分と同じ立場だったり、もしくはそれよりもちょっと弱い、若い人だったり。経験が足りない、努力をしないっていう立場だからこそ、何か

感情移入して応援できるみたいな話があったと思うんですけど。何かその逆で、アイドルが育っていきすぎると、大きいステージとかでやりすぎると、何かちょっと遠くなってしまった気がして応援できなくなるっていうのがあるかなと思ってて。育つ過程の小ささとか守ってあげないとみたいな気持ちで、感情移入できる要因なのかなとちょっとだけ思いました。

宇宙人：育児みたい…

エセビ 話した直後で、コメント拾えてなくてすみません、今見返すと母親の考え方ですね（笑）母性があってよかったってふと思いました。ありがとうございます。

ボンボン：何かその、感動するだけで言ったらそれこそ一流のスポーツ選手とかアーティストさんとかも、まあ聞いたら感動すると思うんですけど。何かアイドルって、完全に偏見なんですけど歌とかダンスって結構下手なイメージがあって、何かその下手さがどんどん上手くなっていくみたいなのところに成長感じるのかなっていう。それこそ一流のスポーツ選手とかだと、もう上手すぎるんで、もう想像もできないとか。なんですけどアイドルは等身大とか、まああると思うんですけど、下手なのがちょっとずつ上手くなっていく、そこに心を打たれるんじゃないかなと思いました。

宇宙人：逆に一流スポーツ選手が実はこんな努力してた！みたいなエピソードとか、大体挫折エピソードとかぶっこんできますよね、テレビのとき。一回自分と等身大まで下げないと感動できないんですかね…？

語尾ハート：自分事として見れないんですかね、あまり上手すぎたりすると。

宇宙人：上手すぎたり美しすぎたりする者はできて当然、みたいな

語尾ハート：うーん。何か私は大人のおじさんとかが努力してるのを見ると、アイドルと同じ気持ちになっちゃんですけど。何かその新しいテクノロジーとかが出て、わかんないんだけどみたいな、一生懸命知りたいから教えてくださいみたいな事ってあると思うんですけど、そういう時とか、アイドルと同じじやんとか思っちゃって。何かみんなも努力してるのになんでそのアイドルだけ評価されて褒めてもらえるんだろうみたいな。おじさんとかみんなの周りの人とかも、めっちゃ努力してるのに評価されないの悲しいなってちょっと思ったんです。

宇宙人：語尾ハートはおじさんに対して何か優位を感じて…？

ボンボン 語尾ハートがずっとおじさんにだわってて、なんでだろうと思いました。（笑）

語尾ハート：特にないんですけど…

宇宙人：それはないんですね。

語尾ハート：はい。

**反抗期** : 今の話をちょっと聞いたのは、私は結構何か、あんまり自分に近いと思入れとかがとても深くなってしまって、あんまり、 **他人事として見れる** からこそ私は何か感動したりするなあってちょっとだけ思いました。

**宇宙人** 他人事として見れる、かつ倒れたりもする普通の子が努力していると人間は素直に感情移入して感動を摂取できる…と考えると、本当にアイドルって的確な立ち位置ですね

**高木** : アイドルの努力と、おじさんの話も出てきたと思うんですけど、その感動の要因って結構「共感する」っていうことが重要なと思って。で、アイドルの感動とおじさんの感動は、要素を抽出するともしかしたら、その、経験したことがある努力。努力って多分普通に生きてたら多分1回はしたことがあって、で、緊張したこととか出来なかったこととかって、みんな経験してるのかなと思って。ああいうオーディション系のアイドルってすごい分かりやすく出来てて、その、出来ない……その、アイドルって可愛いからみんな共感してるというよりは、普通に普通の子が、視聴者が経験したようなことを通じて成長していくっていう様。ああ自分もこうだったなっていうのって、経験したことがある緊張感だったり経験したことがある努力。まあおじさんの話も多分そうだと思うんですけど、最初わかんなかったこととかを誰かに質問して答えてもらって良かったと思った経験とか、そういうところに共感して、感動するのかなって、話を聞いてちょっと思いました。

**エサ待ち bot** : 何かその、アイドルのちょうどいい非現実感が、共感できる理由なのかなって思って。例えば私が周りの人と比べて、あ、この人めっちゃ頑張ってるって自分と比べて、それは結構でも、離れていけば離れているほど辛いし、頑張らなきゃっていう気持ちになってストレスに感じてしまうこともある。一方でアイドルは、全く自分はアイドルではないから、アイドルと比べて、人と比べて、全く差別化することもできないし、どちらかと言うと自分との共通点を見つけて感情移入してしまうことが多いのかな、と思いました。

**語尾ハート** : 確かに自分に近い人が努力してたりするのを見て、確かにすごい感動するんですけどすごいプレッシャーを感じるから。アイドルが頑張っても次元が違うので、何も思わないですもんね。それがすごい腑に落ちた感じがします。

**宇宙人** : 私は結構アスリートとかの話とか好きなんですけど、それも何か遠い世界の人だからみたいなのはありますね。何かこう自分と同じ属性の人がマジで頑張った話を聞くとウツ…てなる。生きててすんません！みたいな。だから同業者の出世とか大っ嫌いなんですよね…そんな感じです、どうでしょう皆さん。どうでしょう小霜先生。

**小霜** : その、アイドルが努力しているのではなくって、そもそもやっぱり努力エンタメなんだよね。努力エンタメをやってる人たちをアイドルと呼んでいる、のが正しいと思うのよ。ど忘れしちゃったんだけど名前を、元 AKB のずっとセンターやってた子。そうそうマエアツね。でね、コンサートでね彼女が過呼吸で倒れたと。で、その時にスタッフが慌てて彼女が復活するまで何とか繋ごうとしたらしいんだけど、秋元さんがそれ見て、舞台裏にやってきて怒ったっつーんだよね。何で過呼吸で倒れたってことを言わないんだー！って言ったっつーのよ。ここに昔のアイドルと今の努力エンタメのアイドルの違いがあると思うんだよね。つまりその過呼吸で倒れたっつたら、みんな感動するわけよね、きっと。そこまでやったんだとか

ね。何か紅白でもさあ、樺坂だか何だかが倒れたりしたよね。それが何か話題になったりしたじゃない、そこまで頑張ったんだ～みたいなさ。倒れてナンボみたいなのとあると思うのよ。だから何かその、前田あっちゃんもさ、どっちかついたら美人ではないよね、あれは。で、やっぱりそういう子の方が可愛い系の子よりも人気あるわけじゃない。それはまあ、あの、そういう子だからこそ可愛い子の10倍は努力しなきゃいけないよなみたいな。そういうのもあるんじゃないかなって気がして。で、やっぱそういう、何か必死で頑張るっていうところに、何かまだイケてない、自分は成功してないぞという人たちが、何かを得ようと思って集ってるのかなと。多分、自分も頑張った気になるんじゃないかな。コンサート行くと、こう、自分の頑張りを擬似的にやってもらっているって言うか。代行してくれてるみたいな、そういう気分になるんじゃないかな。だから頑張ってなくても、ちょっと頑張れた気になっちゃうって言うか。何かその辺がこう、努力エンタメの本質なのかなって思うんだけど、まあだから頑張った結果メジャーになっちゃって卒業させなきゃいけないって言うね。そうなるわけで。だからその、何でアイドルの努力に感動するのかっていうと、それはまあ、努力を見える化してるからだよね。あの、ま、**努力ってそもそも感動するものなんだと思うよ人は。**でも見えないから感動できないってことがあって、それをみんなに綺麗な形で見せてあげましよう。共感するようにしてあげましようという風に作ってるから感動するんじゃないかしら。

**テンバリ君** 例えば、メーカーのマーケターは、1個の商品をつくるまでに、途方もない努力をしているケースが多いです。だいたいの場合、広告企画に耐えうるほどの象徴的な努力エピソードは、マーケターの中に無意識に仕舞われているので。これを引き出してあげて、お客様の見やすいストーリーに書き直してあげれば、広告主の喜ぶ企画になる可能性があるんだな、というのが気づきでした。

**宇宙人**：それでちょっと思い出したのが、高校野球も倒れてナンボなところあるよな、みたいな。あれも**未熟人間の努力エンタメの1つ**なんじゃないかな。

**宇宙人** テニミュ、他2.5次元舞台系もほぼアイドルと同じ要素でできてると気付きました。もしかしたら他にも努力エンタメは世の中にいっぱいあるのかもしれないなと。

**小霜**：うん、まあね。既成としてそうなってるよね。あれは総合プロデューサーがいるわけじゃないから、狙ってやってるわけじゃないと思うんだけど、勝手に周囲がそれを期待しちゃってるって言うのね。もしかしたら**AKBの元ネタは甲子園**かもしれないな。あれを人為的にやったらどうなるかってことで開いたのかも知らない。

**定規** 「ヒットコンテンツの元ネタが予想外のところにある」ってすごく面白いなと思いました。そういうのを自分たちで推察するの、良いトレーニングになりそうです

**宇宙人**：ありがとうございます。皆さんいかがでしょう。

**小霜**：じゃあね、次は、

## 「定期試験の前になぜ部屋の掃除をしたくなるのか。」

**宇宙人**：はい、誰でしょう。

**テンパリ君** : えっと、定期試験の前は勉強に向かいたくない気持ちがあります。で、その勉強に向かいたくない気持ちの逃げ先は、まず心のリフレッシュみたいなのところにあるのかなって風にして。で、心のリフレッシュをするときに、多分これから勉強しなければならない、知識を詰め込まなければならない、みたいなことを思った時に、掃除という手法がちょうどそれに当てはまってるのかなと。つまりリフレッシュするやり方として、これから向かう課題に対しての、リフレッシュのやり方としては掃除がちょうどいいのかなということを僕は思っていました。

**宇宙人** : エサ待ち bot どう思いますか。

**エサ待ち bot** : はい、えっと、私あまり片付けが得意じゃないんですけど、机の上が片付いてないと勉強する気が起きない、何か雑多な情報が入ってきてしまって勉強する気が起きないってことがよくあるので、心のリフレッシュっていうテンパリ君の意見すごい賛成だと思っていました。

**宇宙人** : なるほど。ボンボンどう思いました？

**ボンボン** : ちょっとこれ僕の仮説というより、昔、心理学系で読んだことがあって。あの、セルフハンディキャッピングみたいなこと。テストの時間が迫っている、でも、いい点とれるかわからない。でも掃除をしてたから、そのテストの点取れなくてもまあしょうがないよねっていう言い訳を作ってるみたいな、形なのかなと。ていうのを1個ちょっと聞いたことがあります。

**ボンボン** 何かで知っている事であってもそれが本当なのか。他の仮説は無いか常に問い続けることが大切なのかなと感じました。

**テンパリ君** 釈迦に説法でしたら恐縮ですが、私は心理学を専攻しており、心理学では、答えが複数あることが一般的です。ボンボンのおっしゃるとおり、私も、他に仮説はないか問うことの必要性と、あと答えが一度出てしまった場合それから離れることの難しさなどを感じました。

**宇宙人** : 何か思うところある人、拳手制をお願いします。

**語尾ハート** : 私はあの、プリントが、テストの前だといっぱい揃えなきゃいけないんですけど、それが無いから掃除してるっていう言い訳をよく使ってたなあって思いました。勉強できるだけしたくないので、はい。

**宇宙人** : そのプリントって、揃えようと思ったら揃えられたんでしょうか。

**語尾ハート** : うーん、まあ、努力次第ですかね…

**スカシスト** : 僕もテンパリ君の問いを考えてて、疑問として絞っていく中でこれって答え出てるのかなって風にして検索していったら、これは明確な答えが出てたので、ちょっと外してしまった疑問だったんですけども。ボンボンの言う通り勉強前に何かその、やはり勉強したくない欲っていうのが勝ってき



て、言い訳作りですよ。掃除をしたから **テストの点がダメだったとしても、ちょっと掃除してたから…っていう風に逃げれる**ってところを作るために、掃除をしてしまうっていう心理的な効果が働くってこのを見ましたってことですね。

**定規** 講義の本題とはそれなのですが、テスト前に掃除したくなるのが勉強の”敵”になのだとしたら「家庭教師のトライがテスト前限定で家事代行サービスを開始」みたいなサービスが出てきても面白いなど。疑問からアイデアって生まれるんだなあと個人的にハラオチしました

**テンパリ君** 面白いですね。この意見をお伺いして、例えば、テスト前に掃除したくなることを勉強の敵と捉えて、それが勉強に集中できない原因と読み解くなら、「敵の敵は味方だ」発想で、「テスト前限定で部屋もっと散らかします。そうすれば掃除やる気起きなくなって、勉強するしかないでしょ？」みたいなことも考えるかなと思いました。

**定規** 面白いですね！！同じ考えでいろいろ展開できそうです。例えば「友達を家に呼ぶと部屋を片付けよと思う」ってインサイトがあると思うので、テスト週間直前にホームパーティを開催して、その時点で部屋を片付けておけば、楽しいパーティが終わった後はそのまま勉強に集中できる、とか。

**反抗期**：それはその、掃除が皆にとって良いことだから掃除になるんですか？漫画読んじやってたからとかも全部言い訳になるのかなと思っちゃったりしたんですけど。その理由、何で掃除かってのは、何かプラスな印象が与えられるからみたいな感じなんですかねそれは。

**スカシスト**：僕はそう思ってます。ボンボンはどうです。

**ボンボン**：ちょっとそこまでは僕も分かってなかったんですけど、確かに漫画読むとかゲームよりは何か、ちゃんと一仕事やってたよってような…

**スカシスト**：罪悪感的に。

**反抗期**：大義名分的な。

**ボンボン**：になるのかなーっていう。そういうの思いました。

**テンパリ君**：今の所についてなんですけど、漫画も読みませんか。掃除もするし漫画も読みますってなるときに、何か何となく一義的な答えにはなりづらそうな気がしましたけど。

**宇宙人**：私個人的に、試験前に部屋の掃除はしないんですけど、締め切りが3つ4つ被ってるとちょっと締め切り遠くて軽い方からやっちゃうみたいなのところがあって。もちろん当然間に合わせなきゃいけないで間に合わせるんですけど、あれ掃除と同義だなと自分では思っています。要は私にとって多分、他の仕事をやることは言い訳になると思い込んでいます。ならない！

**スカシスト**：あとは何か、全然全くの僕の仮説なんですけど、掃除をすることによって頭の中もまっさらにしたのいかなってようなことも、ちょっと思い浮かびました。そういう風に真っ白に戻すことで、また何か新しいものを取り入れやすくするために、掃除しちゃうんじゃないかなって思います。

宇宙人：確かに。わざわざなんで掃除すんのって言われると今掃除する理由ないですもんね。そこには真理があるのかもしれない…

ヒゲのび太：何か、さあ勉強しましょうって机に向かって何かやった時に、何か人間って多分気になるものを消していきたい性分なのかなって思ってた。漫画読んじゃうのも目に付いた時に、例えばスラムダンク映りました、スラムダンクの終盤どんな話だったっけなってるのが気になって勉強に集中できないってのがあがる気してて。僕も何か案件とか最後の方なのにゲームやっちゃってて、でもうゲームを早く先に終わらせないと集中ができないって状況になるんで。多分掃除っていうのも、何か、机に向かいます、何か消しゴムが全然違うところに。置いてあります、これちょっとここに戻さないと…っていうのを全部やらないと、本当の意味での集中ってできないのかなと思って。気になるものを一つずつ全部、で、最後に残ったものがその勉強、みたいな。勉強とか仕事とかやらなきゃいけないことなのかなってちょっと思いました。

宇宙人：それは…何でしょうね…優先順位がバグってる…

ヒゲのび太：ほんとに集中する時って、何かその、**気になるものを完全にゼロにしないとできなかったりする。**

宇宙人 セルフハンディキャッピング説の他にも、ちらつくものが気になる説、追い込みたい説など出てきて面白かったです。現象としては同じ掃除でも色々な理由があるのかもなど。

スカシスト：そうっすよ…

宇宙人：それはアレですね、仕事よりゲーム、仕事より掃除が楽にできるタスクだから…？

ヒゲのび太：あ、そうですね。何か。仕事より掃除の方が簡単にできるんで。勉強もですけど。

エセビ：ちょっとだけ思ったんですけど、家の掃除って多分、机に向かっている状態でできるじゃないですか。何か机の周りから始めて部屋全体にやるとか、色々あると思うんですけど、漫画とかも多分、手元に近くにあるとか。ゲームも近くにあるとか。**そういう言い訳の悪と善というか。**何となく善義というか、いいことをした！みたいな気持ちがちょっとあると思って。漫画とかだと何か悪いことしてる背徳感というか、それがまた何かちょっと、もしかしたら作用してるかもしれないんですけど。掃除の方が手短で何か、いいことをしたみたいな感じを自分で思い込ませられるから掃除を選ぶのかと思いました。

エセビ 話し方下手すぎるのですが、「自分の近くにある言い訳の中から、善悪に沿ってどれか選ぶ」ってことが言いたかったはず…（こうゆう補足もありでしょうか？）

デンバリ君 すごく、じっくり来ます。実体験でめっちゃめっちゃありますね。そうすると、仮説としては「逃避行動をする際は、自分にとって好ましい言い訳の存在する逃避行動を優先する」みたいになるんですかね..?この角度でみると、解決策は「都合の良い言い訳を与える」みたいなところになるんですかね、。。

定規：結構ヒゲのび太の言ったことが個人的にはすごい共感だったんですけど、何か、勉強しなきゃいけない状況なのに掃除をするって、多分まだ自分の心のどこかで余裕があると思ってるのかなと思って。それで例えば掃除をするとか漫画を読むとか、そうやって色々他の選択肢を消すことで逃げ道をなくして行って、でも、後は勉強するしかないよねっていう状態を強制的に作ってるのかなっていう風に。

ボンボン：僕結構部屋散らかってる方なんですけど、本当にもう毎日整理整頓されてて、それこそチリほこり 1 つない人でも掃除ってし始めるものなんですかね。 **綺麗な部屋の方**いらっしゃいます？

宇宙人 ビジネス書によく「仕事ができるやつは机の上が片付いてる」と書かれているのを思い出しました（笑）多分これはこれで逃避行動をしないための技術で、一方で特にクリエイティブは机が汚くても仕事ができる人はいっぱいいるので、スカシストの言う状態なのかもなど。

スカシスト：それでいうと、ちょっと気になったのは、例えばよくテレビとかでやってるお掃除番組みたいな感じで、何かもう家の中大量に廃棄物ばっかりの家とかでも、それでも何か、自分が把握しているものの位置みたいなのはわかる、みたいな。例えばこの漫画はゴミの奥にあるっていうのが、もう記憶して分かってるみたいな。っていうところから、ものの位置っていうものを自分の頭の中で何か把握してて、その把握してる情報からそれているからそれを掃除したくなるのかなって思いました。一つのを集中してやりたがる、やりたいて思う時に、元あるオリジナルの情報からエラーが出てしまうところに対して違和感を感じてしまうからなのかもしれませんし。だからこそボンボンもしかしたら、お部屋が散らかっていても集中できるっていうのは、もしかしたらその散らかってる状態がオリジナルの情報として残っているからなのかもしれませんよ。

宇宙人：他はなさそうですね。先生いかがでしょう。

小霜：んー、どうなんだろう。僕は掃除しようなんて全然思わないけど、何かやっぱ逃避行動みたいなものはするかもしれないね。多分これは人によって出るのも違ってて、掃除する人もいるんだろうけど料理する人もいるとか。ゲームする人もいるとか。何でそういうことをやるのかつつたら、なんでなんだろうねえ…。んー、どっか自分を追い込もうっていう風に思ってるのかな。何かそれともちょっと違うことやった方が、一旦離れた方が、頭が整理できてかえって効率いいみたいなことを無意識で考えているのかもしれないね。これね、その、アイデア出す時の法則つーのがあって。1 回考えるでしょ。1 回ガーッと考えたら、ちょっと間を置くのがいいのよね。1 回ガーッと考えて一週間ぐらい忘れると。で、一週間後にもう 1 回考えると、その間に何かこう無意識でね、どうしてもやっぱ気になってるから、色々考えてるみたいで、その時にアイデアが湧いてくるっていう話があるわけ。だから 2 回考えるっていうのが結構鉄則だって言われてるのね、アイデアつーのは。でね、あのーなんだろう、これメリハリなんだけど、集中するってのが大事なんだよね。ガーッと集中したら、1 回また忘れて、また集中すると。これがいいわけで、何か 1 日中べったり張り付いてたりしても、大したアイデア出なかつたりするのよ。それと結構似ていて、ガーッとこう勉強していても、そのままやっても効率上がらないと。1 回離れた方が、無意識が働いて、良い結果になるってことなのかもしれないね。そのことをなんとなく潜在意識で感じていて、そういう行動を取らせるっていうか、何かそういう話のような気がするけどね。

**テンバリ君** みなさんにお伺いしたいのですが、1回ガーって考えるのって、だいたいどの程度の時間を使うものなのでしょう？自分は、どうも1個のことに集中するのは苦手みたいで、15分～30分くらいですぐに行き詰まってしまうんですね、。

**宇宙人**：逃避行動も意味があるもの…かもしれない？

**小霜**：いや、うん、**何らかの意味があると思うのよ**。そういう風に、こう、何か、なっちゃうというか。自分を駆り立てるものがあるってことはね。その奥に何かあるんだと思う、きっと。

**語尾ハート** 逃避行動は、やらなきゃいけないことに、向き合うための心の準備に必要な時間なのかもしれないと思いました。

**宇宙人**：皆さんどうですか？

**小霜**：じゃあもう9時に近いんで、今日はこのぐらいにしようかと思うんだけど、何か聞きたいこととかあれば。

**ヒゲのび太**：先ほど小霜先生が、アイデアの出し方っておっしゃられてたと思うんですけど、何か、ガッと考える時のコツというか、必勝パターンみたいなものが、もし使ってるのがあれば、一例教えていただけたらなーと。

**小霜**：んーとね、机にへばりついて考えない。常にね、何か刺激を受けながらがいいのよ。だから何も関係ない情報を見ながらでもいいと思うし、何にもないテーブルに向かって一生懸命考えても限界があるよね。そこでこう、出し切っちゃったらもう出ないっていうか。あとはやっぱりこう、やっぱり変な刺激だと思うんだよね。例えば車のコピーを書くときに、車のコピーを参考にしてもあまり刺激になんないというか。何も関係ないカップ麺の情報みたいなものを見て、すごい何かこう閃くとか。で、それはカップ麺、どんなものを繋いでみたとかじゃなくって、全然関係ないことをパッと思いついたりするんで、何かもう全然関係ないものでもインプットしながらやるといいかなって思うけどね。

**ヒゲのび太**：ありがとうございます。一週間後もそういう感じですよ。

**小霜**：うん。ま、でもこの話と、時間を置かって話はまた違うことなので。だからこう、ずーっと気にしてる時間が長いといいみたい。あと考えてはちょっと離れてっていうね。繰り返しが意味があるっぽいね。

**宇宙人**：他に質問がある方は。

**反抗期**：ちょっと聞いてみてもいいですか。この質問とか疑問って、すごいその人のモノの見方とか考え方とかがあって面白いなと思ったので、単純に疑問なんですけど、小霜先生が最近思った疑問というか、これは何でなんだろうと世の中に対して思ったことを、ちょっと聞いてみたいなって思いました。

**小霜**：え～～！何思ったかなあ。思い出せないなあ……。 **鬼滅の刃がヒットする理由**ってのが、何回聞いても分かんないかな。うちの妻と末娘にはすごいヒットしてるのよね。息子は俺と同じでイマイチって言

ってるのよ。何なんだろう、いや、そんな面白い？って感じ。何かもう類型的だし、割とどっかで聞いたような話の寄せ集めだなーって気がして、なんでそんなヒットするのかなーってのが……何かヒットした理由みたいなのはいくつか読んだんだけどさ。でも何かこう、納得できない。主題歌がいいっていうけど、主題歌もあれもパターンだよ。結構よくある感じがして、そんな新しいか？っていう。まそんな感じですかね。

**定規** 古代の人類にまつわる知見から最新のヒット作品にまつわる洞察まで、知識・思考が本当に広くて深い方だなあ  
と感服しました。見習わなくては。

**反抗期** 私もそう思いました。鬼滅の刃はあらすじさえも知らなかったもので、小霜さんのお話になんの返しもでき  
ませんでした…。

**反抗期** : ありがとうございます。

**小霜** : じゃあね、えっと次回は、タグラインを書いてもらおうと思うのよ。商品のタグラインね。どの商品がふ  
さわしいかちょっと今考えているところなので。それは追ってメールします。タグラインとはなんぞやって  
いうのは自分たちで調べておいて欲しい。  
ということで、今日はこんな感じでいいかな。じゃあまた、再来週。

一同 : ありがとうございました！